

平成23年12月12日

**環境への配慮、バリアフリー対応、安全性向上を高次元で実現した新型通勤車
新型車両13000系20両を新造します。**

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区、社長：加藤好文）では、新型車両「13000系」20両を新造し、宇治線を中心に平成24年春より順次営業運転を開始します。

この車両は、これまでの当社車両開発時に蓄積された技術やノウハウを結集し、特に環境への配慮やバリアフリーへの対応、安全性の向上などに主眼を置いて開発された新型通勤車です。

環境面においては、従来車両（2600系）との比較で約35%の電力量削減を実現。2600系20両との代替が完了すると、運転用電力量全体では約1%の電力量削減が実現する見込みです。走行時の鉄道騒音も低減し、沿線の環境保護に寄与します。

また、車いすスペースや液晶式車内案内表示器などに加え、荷棚の高さを低くするとともに、扉端部と足元にオレンジ色のラインを設けるなど、バリアフリー対応を充実します。

安全面においても、オフセット衝突対策も含めた車体強度向上を図るほか、事故や急ブレーキ時の車内での事故防止策も施します。

さらに、デザイン面では、主な用途となる通勤車らしい軽快感を演出した外観に加え、内装には墨色や橙色といった特徴的なカラーを要所に配し、京阪電車のイメージカラーである緑色を基調としつつも、観光都市京都のエレガントなテイストも想起させる、モダンな車両に仕上げています。新型車両の概要は別紙のとおりです。



新型車両13000系（外観イメージ）

(別紙)

1. 特徴

環境への配慮

- ・アルミ合金製車体とVVVFインバータ制御装置を採用し、本車両と代替される従来車両(2600系)との比較で約35%の電力量削減、2600系20両との代替が完了すると、運転用電力量全体では約1%の電力量削減が実現する見込みです(20両で年間約60万³m³のCO₂排出を削減)。
- ・低騒音タイプの機器の採用などにより、走行時の騒音を低減します。

バリアフリーへの対応

- ・車いすスペース、車内案内表示器、転落防止外ほろ、誘導鈴、扉開閉予告灯を設置します。
- ・荷棚の高さを従来車両よりも20mm低い1750mm(優先座席部上は従来より50mm低い1720mm)とし、より使いやすくします。
- ・当社車両では初めて、扉の端部と出入口の足元にオレンジ色のラインを配置し、視力の弱い方にもわかりやすくします。

安全性の向上

- ・セミダブルスキン構体の採用、正面強度の向上やオフセット衝突の対策など、種々の車体強度向上策を施します。
- ・万が一の事故や急ブレーキ時に、お客さま同士や、お客さまが車内設備に衝突することでケガをされることのないよう、握り棒を増設し、座席端部の仕切板を大型化します。また、危険な角部を極力なくしたやさしい設計としています。

サービスの向上

- ・液晶式の車内案内表示器を設置します。
- ・除湿機能を備えた全自動空調装置を採用します。
- ・ゆったりと座っていただけるよう、一人当たり座席幅470mmのバケットシートを採用します。
- ・ダイレクトマウント式空気バネ台車の採用により、快適な乗り心地を実現します。

デザインコンセプト等

平成20年の3000系新造時に導入した車両全体の基本デザインコンセプト「風流の今様」を継承しました。エクステリアデザインでは、「風流の今様」を具現化するモチーフとしての「スラッシュ・ムーン」と呼ぶ円弧形状に加え、コーナーにエッジをもたせた「ウェッジシェイプ」というテーマを導入し、通勤車らしい軽快感を演出しています。インテリアデザインでは、外観との調和も考慮して、萌黄色を座席や吊り手に用いたほか、サブカラーには墨、アクセントカラーとして橙を採用、京都のテイストを感じさせつつもモダンな、これまでの通勤車両にない大胆なデザインとしました。

2. 主要諸元

車 系	1 3 0 0 0 系
編 成	4 両 編 成 (M c T T M c)
最大寸法	先頭車： 1 8 , 9 0 0 m m (長 さ) × 2 , 7 9 2 m m (幅) × 4 , 1 9 5 m m (高 さ) 中間車： 1 8 , 7 0 0 m m (長 さ) × 2 , 7 9 2 m m (幅) × 4 , 1 1 6 m m (高 さ)
定 員	先頭車：1 2 8 人 (うち座席 4 3 人) 中間車：1 3 7 人 (うち座席 4 9 人)
座 席	ロングシート (バケットシート)
構 体	アルミ合金
制御装置	V V V F インバータ方式
両 数	2 0 両 (4 両 × 5 編 成)
車体製造所	川崎重工業株式会社



新型車両 1 3 0 0 0 系 (車内イメージ)



扉の端部と出入口の足元に
オレンジ色のラインを配置



荷棚の高さは従来車両より低く設定



サブカラーには墨、アクセントカラーとして橙を採用

以 上